

## 第4回 いしかわの森づくり検討委員会要旨

- 1 日 時 平成16年11月5日(金) 13:30~15:30
- 2 場 所 県庁行政庁舎1109会議室
- 3 出席状況 出席委員 10名(全委員13名)

## 4 議事概要

- (1) 第3回検討委員会の要旨について
- (2) 森林に関する県民意識調査の結果について
- (3) 新たな森林整備の方策について

## 5 主な発言内容

- (1) 森林に関する県民意識調査について
  - ・森林への関心や森づくりへの協力意識が高いことが理解できた。
- (2) 新たな森林整備の方策について
  - ・森林問題は幅が広く、いろいろな側面があるが、委員会ではおもに手入れ不足林2万9千haについて検討していく。  
ただし、マツ林の問題や里山の活用、竹林の拡大防止対策についても問題として扱うべき。
  - ・現行制度では、36年生以上の森林や奥地の森林の整備が進まず、ますます荒廃していくと考えられ、新しい制度が必要。
  - ・高知県等の伐採規制や40%の間伐率は、所有者にとって甘い条件ではなく、相当条件の悪い森林でないと難しい。また、そのような森林は、岡山県の自己負担が必要な方法では整備が進まないと思われる。
  - ・新制度による森林整備は従来型の整備と調和をとりながら、森林所有者の意志を尊重し進めていくべきであり、ある程度県がリーダーシップをとっていく方式がよい。
  - ・森林整備の実施主体は、県だけではなく森林組合との両立を考えていくべき。
  - ・他県の事例も参考にしながら、石川県独自の森林整備の方式を検討すべき。
  - ・県民全体がそれぞれの能力に応じて何らかの森づくりに参加し、森林に対する理解を深めていく方策を検討していくことが必要。